



写真1



写真2

「少し深い海の底」というテーマの水槽には、大阪湾の水深 70mほどの海底でとれた生き物を展示しています。今回は、この水槽のヘイケガニについてご紹介します。

まず、写真1はヘイケガニの甲らを拡大したのですが、どうみても人の顔に見えますね。怒っているような表情です。この顔は、壇ノ浦の戦いにやぶれて海に入水して果てた平家の人々の怨念がのり移ったものだとされ、このカニを「平家蟹」と呼ぶようになったそうです。

さらにこのカニがユニークな点は、甲らの上に貝殻や木片などを背負うことです。写真1を見ると、人の口に見える部分の両側を上をむいた脚が四つありますが、この脚で貝殻をつかんでいる様子が写真2からわかりますね。本人は体を隠しているつもりかもしれませんが、ちょっと背負うものが小さすぎたようです。

